

令和 7 年 第 2 7 回 定 例 公 安 委 員 会 会 議 録

開 催 日 時 令和 7 年 9 月 4 日（木）午前 1 1 時 8 分～午後 2 時 1 0 分

開 催 場 所 警察本部

第 1 定例会議

1 開催時間 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 5 分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 笠田委員 杉原委員

警察本部	渡邊警務部長	渡邊首席監察官	山柝生活安全部長
	細田刑事部長	宮田交通部長	永島警備部長
	山本警察学校長	永井情報通信部長	谷本境港警察署長

（事務局等～柳原公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

4 報告事項

- 公文書開示請求等の状況（令和 7 年 4 月～ 6 月）（警務部）
- 第 4 9 回広報用写真コンクールの開催結果（警務部）
- 夏季における主な雑踏警備の結果（生活安全部）
- 境港警察署の取組（活動）状況（境港警察署）

（ 1 ） 公文書開示請求等の状況（令和 7 年 4 月～ 6 月）（警務部）

警察本部

令和 7 年 4 月から 6 月の公文書開示請求について、公安委員会宛ての請求が 0 件、警察本部長宛ての請求が 2 7 件であった。また、保有個人情報開示請求については、公安委員会宛ての請求が 0 件、警察本部長宛ての請求が 5 件であった。

引き続き、法律及び条例に基づき適切に対応していく。

委員

行政文書の開示請求において、開示請求の理由は求めないとのことである。開示請求は国民の権利であるので、引き続き丁寧な対応をお願いしたい。

委員

定期的になされる開示請求が主だと思うが、開示にあたり、不適切な情報が漏れないよう確認をお願いする。

委員

行政の透明性を示すためには、適切な情報開示が必要だと思う。今後も信頼を得られるよう、適切な情報開示をお願いする。

(2) 第49回広報用写真コンクールの開催結果（警務部）

警察本部

広報用写真コンクールは昭和52年から開催されており、今年で49回目となる。開催の目的は、警察職員の広報活動に対する関心を高めるとともに、応募作品を警察庁等の広報資料に広く活用し、もって警察広報の推進に資することとしている。今回は、警察本部内各所属、警察署の警察職員及び警察職員の家族から99作品の応募があり、鳥取県公安委員会委員長、同委員、本部長及び鳥取司法記者クラブの幹事社記者2人が特別審査員として、また、特別審査員以外の警察職員を一般審査員として、それぞれ投票審査を行った。一般審査では、トリピーネット端末を用いたオンライン審査も実施し、計842人の職員から投票があった。投票の結果、特選、一席、二席を1作品ずつ、佳作を2作品選出している。

入選作品を含む上位20作品については、本年10月から11月に開催予定の警察庁主催全国コンクールに出品するほか、全ての応募作品をホームページ、広報紙、パンフレットなどに掲載し、各種広報活動に活用していく。

なお、毎年警察庁の全国コンクールに出品しているが、過去の全国コンクールにおいては、平成28年の第40回コンクールで官房長賞の受賞があったほか、令和7年に警察共済組合広報紙「たいよう」の表紙に掲載されたり、警察庁の採用募集パンフレットにも掲載された実績がある。元々の目的が警察の広報等に広く活用してもらうということであり、それに叶った成果が出ているものである。

委員

特別審査では、非常に優秀な写真を沢山見させてもらった。コンクールを機に、カメラのレンズを通して職場を見つめ直すなど、違った角度からのPRやリクルートにつながると思う。すばらしい作品を広報等に有効に活用してもらいたい。

委員

特別審査をさせてもらったが、どの作品もすばらしかった。警察庁主催のコンクールで上位に入賞することを期待している。

委員

写真を通して、警察に関する親近感が湧いたり警察活動の理解につながると感じる。文字で見るよりも、映像や写真で見ることは何倍もの効果があると思うので、今回の作品を広報等に活用してもらいたい。

(3) 夏季における主な雑踏警備の結果（生活安全部）

警察本部

主な雑踏警備について、鳥取のしゃんしゃん祭、倉吉の打吹まつり、米子のがいな祭及び境港のみなと祭のメインとなる祭りと、花火大会の人出などを分析した結果、昨年対比で人出が約6万6,600人減少した。この要因としては、降雨により、米子のがいな祭のがいな万灯、がいな太鼓、湊山公園内の催し物の一部が中止や場所変更となったことが考えられる。鳥取のしゃんしゃん祭では、警察学校連を含め、昨年より11連多い108連、総勢3,200人の踊り子が参加するなどし、人出が前年とほぼ同規模だった。倉吉の打吹まつりでは、市内パレードに加えて県立美術館前の広場で各種イベントが開催され、人出が増加し、境港のみなと祭でも人出が増加した。米子のがいな祭と境港のみなと祭では、前夜祭が開催され、前夜祭についても雑踏警備を実施した。県内の夏祭りは17か所で開催され、それぞれの管轄警察署で雑踏警備を実施した。

開催にあたり、事前に主催者と綿密な事前協議などを実施し、主催者側の自主警備計画を確認し、雑踏事故が予想される場所への警備員の増強、立入禁止区域や歩行者の一方通行の設定及び救護所の設置などの事前対策を講じた。その結果、雑踏に伴う特異事項はなかった。

今後も雑踏警備に際し、主催者側との綿密な事前協議を行い、雑踏事故等の未然防止を図っていきたいと考えている。

委員

各警察署が管轄するエリアの夏祭りについて、事前対策をしっかり行い、事故なく無事に終わったのは県警察のおかげである。警察官が祭りの中にいることで、見せる警備となり秩序が守られている。

委員

夏の祭りが無事に開催できたことに、感謝を申し上げる。来年以降、各種イベントの開催により、どういう流れになるか分からないが、状況に応じた対策をお

願いする。

委員

夏の時期は、県民や観光客が大規模に外に出る時期である。雑踏事故を防ぐための的確な計画や警備が功を奏し、特異事案がなかったことは喜ばしいことである。近年は、突発的に異常気象が発生することが多くある。事前の計画は大変重要であり、特殊な時の現場での迅速な対応を今後も心掛けてもらいたい。

(4) 境港警察署の取組（活動）状況（境港警察署）

境港警察署

境港警察署長から、地域行事への積極的な参加及び犯罪等抑止活動について説明がなされた。

委員

境港警察署では、署員が地区の行事に参加するなど、積極的に地域の輪に入り、住民の方と心の交流を行っていると感じた。

犯罪抑止活動では、特殊詐欺等に関する講話を11回実施されたとのことであった。特殊詐欺の被害が増えている中で欠かせない活動であり、今後も継続して実施してもらいたい。

少年非行防止につながる環境美化活動の取組について、中学生と公共施設の掃除を行ったとのことである。公共施設を掃除することで、公共心を養い、自分の心をきれいにするのに加え、マナーアップにもつながると思う。

未就学児の交通安全指導は難しいと思うが、標語を使いながら少しでも伝わるように工夫されている。大人と社会が交通事故から子どもを守っていかなければならない。地道でしっかりとした活動をされているので、今後も引き続きお願いする。

委員

昨今は、年齢を問わずに特殊詐欺の被害に遭われている。危機的な状況の中で、金融機関の方が積極的な声掛けを行い、被害を未然に防いだとのことであった。功勞に対し、感謝状を贈呈される取組は、今後も継続してもらいたい。

地域の行事に参加することで、地域との密着度が高くなり、愛される警察官になると思う。引き続き頑張ってもらいたい。

委員

地域の特性に応じた対応をし、住民の声を反映した活動を行っていることに感銘を受けている。地域の活動に参加された職員の感想を聞かせてもらい、非常に良い活動をされていると感じた。今後も地域に寄り添った警察活動の推進をお願い

いする。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取7件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

4 報告事項

監察報告

5 決裁

審査請求の取下げについて

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。